2014/03/11

タスクの手順・留意点

チャレンジ！の手順

こんなときどうする？

1　タスクをする前に、学習者とやりとりをしてタスクにスムーズに入っていけるようにします。
2　指示文の内容、ロールカードの内容を確認します。
3　役割になりきってタスクにチャレンジします。
4　チャレンジしたことをクラスメイトに発表したりして、他の人のチャレンジでよかった表現やどうしたらもっとよかったかなどを学習者に話してもらい、気づきを促します。

見つけた！

1　タスクをする前に、学習者とやりとりをしてタスクにスムーズに入っていけるようにします。
2　タスクの状況を学習者と共有していきます。イラストがある場合はそれを見ながら、どんな状況だと思うかなどを学習者と話します。状況文や指示文の中に新出語彙がある場合は、それを確認します。
3　タスクにチャレンジします。チャレンジする前に、読み取るポイント（〇印の質問）をおさえます。イラストや知っている語彙、漢字から推測するように促します。
4　読み取った後、学習者と答えを共有します。

耳でキャッチ

1　タスクをする前に、学習者とやりとりをしてタスクにスムーズに入っていけるようにします。
2　タスクの状況を学習者と共有していきます。イラストがある場合はそれを見ながら、どんな状況だと思うかなどを学習者と話します。状況文や指示文の中に新出語彙がある場合は、それを確認します。
3　タスクにチャレンジします。聞く前に、聞くポイント（〇印の質問）をおさえます。
4　ＣＤを聞いた後、学習者と答えを共有します。

伝えてみよう

1　タスクをする前に、学習者とやりとりをしてタスクにスムーズに入っていけるようにします。
2　どんな情報を入れると聞いている人に伝わりやすいか確認します。
3　タスクにチャレンジします。クラス全体やグループに分かれて話します。
4　発表を聞いた教師や学習者が質問することで、足りない情報やもっと入れたらいいと思われる情報が何かに気付くようにします。

使ってみようの手順

こんなときどうする？

1　サンプルを聞きます。
2　再度サンプルを聞いたり見たりします。内容や語彙、学習項目の意味などについて学習者に推測を促しながら確認します。
3　学習項目に注意を向ける問いかけをします。学習項目の意味を再確認し、接続を確認します。
4　口頭やワークシートなどで、学習項目の理解を深めていきます。文や会話を作る練習をしたり間違いやすい点を確認したりします。「ことば・表現」については、ことばの意味をマッチング形式のクイズなどにして意味を確認したり、どんな表現を用いたらいいかを紹介したりします。

見つけた！

1　内容や語彙、学習項目の意味などについて学習者に推測を促しながら確認します。
2　学習項目に注意を向ける問いかけをします。学習項目の意味を再確認し、接続を確認します。
3　口頭やワークシートなどで、学習項目の理解を深めていきます。文や会話を作る練習をしたり間違いやすい点を確認したりします。「ことば・表現」については、ことばの意味をマッチング形式のクイズなどにして意味を確認したり、どんな表現を用いたらいいかを紹介したりします。

耳でキャッチ

1　再度ＣＤを聞いたりスクリプトを見たりしながら、内容や語彙、学習項目の意味などについて確認していきます。その際、学習者が推測できるように問いかけながら進めていきます。
2　学習項目に注意を向ける問いかけをします。学習項目の意味を再確認し、接続を確認します。
3　口頭やワークシートなどで、学習項目の理解を深めていきます。文や会話を作る練習をしたり間違いやすい点を確認したりします。「ことば・表現」については、ことばの意味をマッチング形式のクイズなどにして意味を確認したり、どんな表現を用いたらいいかを紹介したりします。

伝えてみよう

1　サンプルを見ながら内容や語彙、学習項目の意味などについて確認していきます。その際、学習者が推測できるように問いかけながら進めていきます。
2　学習項目に注意を向ける問いかけをします。学習項目の意味を再確認し、接続を確認します。
3　口頭やワークシートなどで、学習項目の理解を深めていきます。文や会話を作る練習をしたり間違いやすい点を確認したりします。「ことば・表現」については、ことばの意味をマッチング形式のクイズなどにして意味を確認したり、どんな表現を用いたらいいかを紹介したりします。

やってみようの留意点

学んだことや共有を通して気が付いたことをふまえて、やってみようをします。

こんなときどうする？

- 学習者の経験から出たものを状況として使うこともできます。
- 話したことを書いてみるのもいいでしょう。正確性を意識することにつながります。

見つけた！

- ほしい情報や知識が読み取れたかどうか確認できる質問をします。
- 読んで得た情報や知識をクラスメイトと共有したり、内容について話し合ったりしてもいいでしょう。

耳でキャッチ

- 内容が聞き取れたかどうか確認できる質問をします。教科書の巻末（ｐ.277～）にスクリプトが載せてあります。
- 聞いて得た情報や知識をクラスメイトと共有したり、内容について話し合ったりしてもいいでしょう。

伝えてみよう

- 話したことを書くことで自分自身のストックにすることにもできます。〇〇集にして学習者同士で読み合って、新しい情報や考えを交換することもできます。